

事業概要

小田原駅には5つの鉄道が乗り入れ、神奈川県西の鉄道駅としては最大の乗降客を数えていますが、駅東西の機能分担・連携が図られていません。

一方、県による富士箱根伊豆にまたがる新しい交流圏づくりのなかで、小田原駅周辺地区は広域交流拠点として位置づけられ、快適で利便性の高い交流機能の整備が求められています。

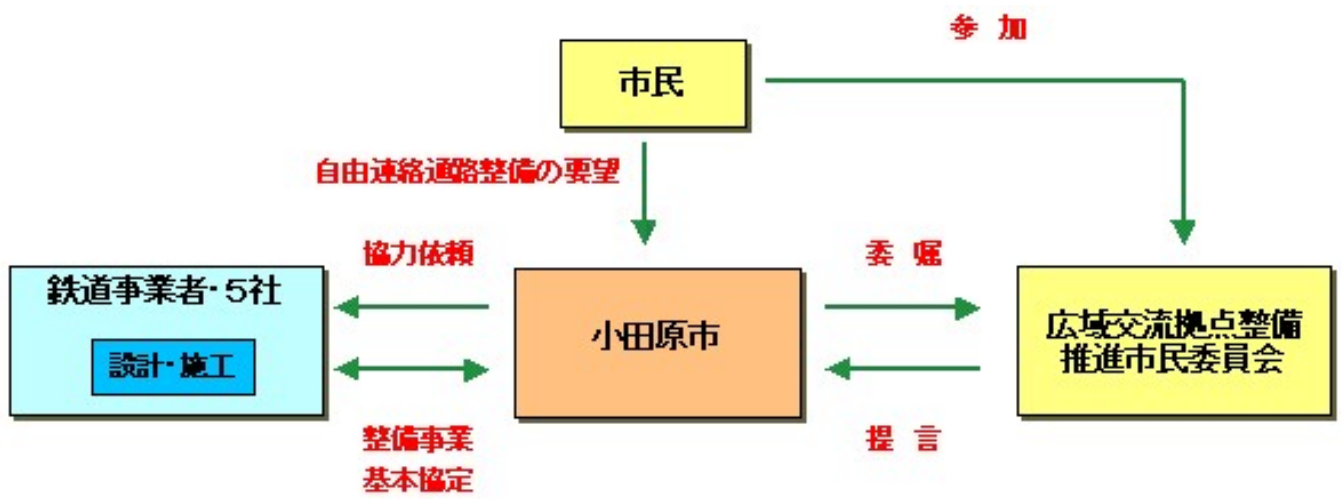
小田原駅東西自由連絡通路整備事業は、このような背景を受け、広域交通ターミナル機能の東西の分担と相互の連携を図るとともに、利用者の安全性・利便性の一層の向上を図ることを目的に実施するもので、今後の小田原駅周辺地区全体の発展に向けた先導的役割を担う事業です。

経

緯

昭和 63 年 12 月	市と鉄道 5 社(J R 東日本、J R 東海、小田急電鉄、伊豆箱根鉄道、箱根登山鉄道)で「小田原駅東西自由連絡通路整備協議会」を設置
平成元年度～ 4 年度	整備計画案（地下方式・橋上方式等）の検討
平成 5 年 7 月	橋上方式とすることで決定
平成 6 年度～ 8 年度	鉄道各社に概略設計を委託
平成 9 年度	整備計画案の一部変更及び概略設計の精査・見直し
平成 1 1 年 3 月	市と鉄道 5 社で「小田原駅東西自由連絡通路整備事業に関する基本協定」を締結（以降、順次鉄道各社と個別に設計及び施行に関する協定を締結する）
平成 1 1 年度	実施設計
平成 1 1 年 7 月	「広域交流拠点整備推進市民委員会」を設置
平成 1 2 年 3 月	工事着工
平成 1 5 年 3 月	東西自由連絡通路一部開通
平成 1 5 年 1 2 月	東西自由連絡通路完成

整備体制と連携



施 設 概 要

区 分	JR 東日本	小田急電鉄	JR 東海	伊豆箱根鉄道
自由通路	延長：約 8 0 m 幅員：1 6 m	延長：約 4 2 m 幅員：1 6 m	延長：約 5 0 m 幅員：1 1 m	(延長：約 3 2 m) (幅員：4 . 5 m)
橋上駅舎	軌道上空 約 2 , 5 0 0 m ²	軌道上空 約 2 , 0 0 0 m ²		
駅施設			新幹線駅業務施設の 移転	駅業務施設の建替え
J R 間 乗換連絡通路	延長：約 1 0 5 m 幅員：5 m			
付帯施設	エレベーター（東口：1 基、西口：1 基） エスカレーター（東口：上り 2 基、西口：上り 1 基・下り 1 基）			

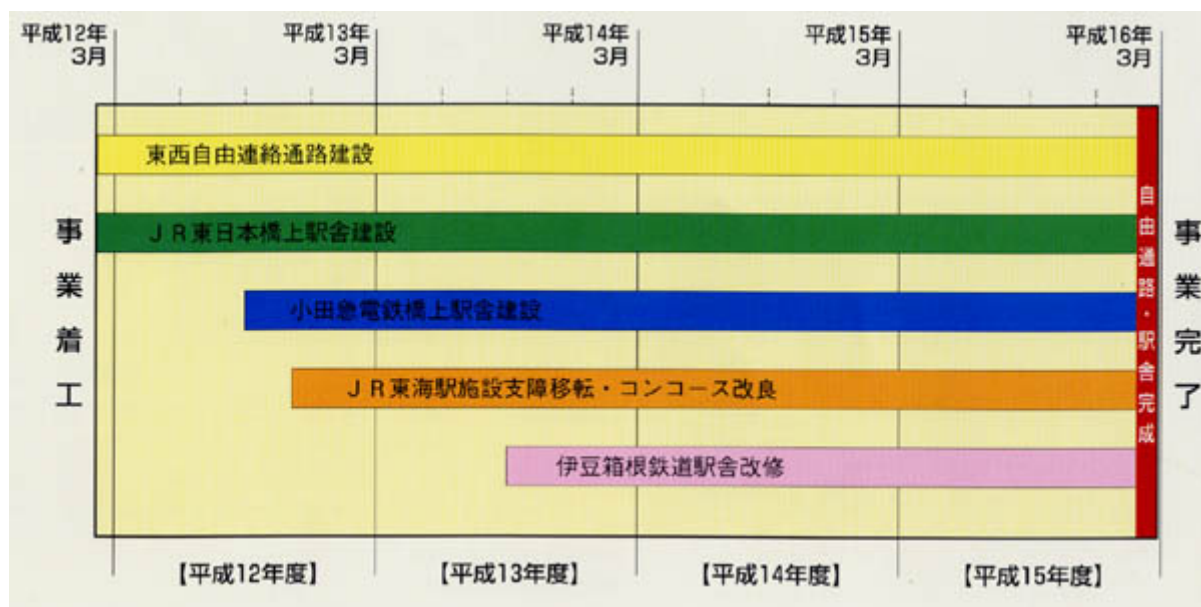
小田原と鉄道の歴史

1887（明治20）年	新橋－国府津間に鉄道が開通する
1888（明治21）年	国府津－小田原－湯本間に馬車鉄道が開通する
1889（明治22）年	町村制が施行され、小田原町が誕生する
1896（明治29）年	小田原－熱海間に人車鉄道が開通する
1900（明治33）年	国府津－小田原－湯本間に電車が開通する
1906（明治39）年	小田原－熱海間の人車鉄道が軽便鉄道となる
1919（大正 8）年	湯本－強羅間に箱根登山電車が開通する
1920（大正 9）年	熱海線が国府津－小田原間に開通する
1925（大正14）年	小田原－関本間に大雄山線が開通する
1927（昭和 2）年	新宿－小田原間に小田急線が開通する
1934（昭和 9）年	丹那トンネルが開通し東海道本線が小田原駅を通る
1940（昭和15）年	小田原町と周辺4町村が合併し、小田原市が誕生する
1964（昭和39）年	東海道新幹線小田原駅が開業する
2000（平成12）年	平成15年度の完成を目指し、東西自由連絡通路本体工事に着手する
2003（平成15）年	東西自由連絡通路完成

小田原駅東西自由連絡通路の事業スケジュール

平成 15 年度事業完了

東西自由連絡通路整備工事は、平成 12 年 3 月に JR 東日本部分に着手して以来、順次鉄道会社ごとに工事に着手し、全体計画としては平成 16 年 3 月に事業完了いたしました。



開通記念式典、華やかに、にぎやかに挙行！

3月30日の開通に先立ち、3月21日（金・祝）の午前中に来賓、招待者約300人の出席のもと、開通記念式典が行われました。

祝辞、工事報告に続いて、愛称「アークロード」の応募者として、宮崎県宮崎市から駆けつけていただいた和田力さんに、市長から記念品と命名者証明書が贈られました。

そして、来賓によるテープカット、くすだま割りの後、公募によって選ばれた10組の3世代夫婦の皆さんを先頭に渡り初めが行われ、式典は無事終了しました。

午後からは、一時的に使用できるようになった自由通路のほか、おだちか、小田原城銅門広場、二の丸広場の4会場で、えっさほいおどりや鉄道忘れ物フェア、フリーマーケットなど様々なイベントが催され、23日までの2日半、駅周辺は多くの人々で賑わいました。



会場風景



開式挨拶



市長挨拶



市議会議長挨拶



工事報告



河野衆議院議員祝辞



県知事祝辞



県議会議長祝辞



国土交通省祝辞



愛称認定証・記念品贈呈



テープカット



くす玉割り



鳶職組合による木遣歌



【3世代夫婦】浜町の生沼さん



【3世代夫婦】高田の須山さん



【3世代夫婦】鴨宮の高橋さん



【3世代夫婦】浜町の田中さん



【3世代夫婦】板橋の伴野さん



【3世代夫婦】府川の増田さん



【3世代夫婦】中井町井ノ口の松本さん



【3世代夫婦】静岡県小山町の松本さん



【3世代夫婦】荻窪の守屋さん



【3世代夫婦】開成町吉田島の諸星さん



小田原ちょうちん踊り



勇壮な小田原北條太鼓



来賓・招待者渡り初め



イベント（忘れ物フェア）



イベント（はしごのり）



イベント（小田原少年少女合唱隊）



イベント（氷の彫刻）

小田原駅東西自由連絡通路の全体イメージ

ミレニアム・プロジェクト として

小田原駅東西自由連絡通路は、単に小田原駅の東口と西口を結ぶだけの通路ではなく、今後の駅周辺の発展と新たなまちづくりに向けて、先導的な役割を担った施設として整備するものです。また、折しも西暦2000年という歴史の節目に着工したビックプロジェクトであることから、まさに本市にとってのミレニアム・プロジェクトと言えます。

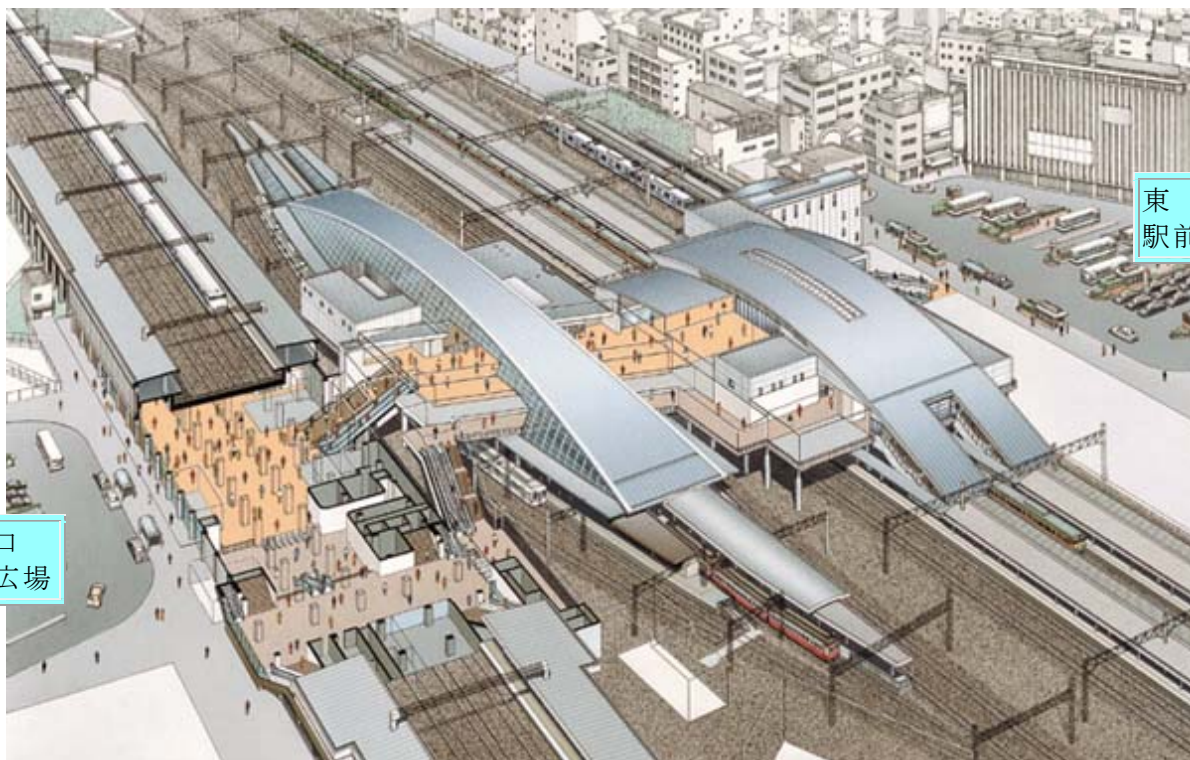
自由通路は、新しい小田原駅舎の中を通る幅16mの広い空間で、線路を横断し東西の駅広場を結ぶとともに、それぞれの鉄道駅舎に直接アプローチできるようになります。

東口広場は、小田原のメインゲートとして魅力ある都市空間を創出するとともに、利用者にとって安全で利便性の高い施設の整備を行います。

西口広場は、東口広場との広域交通ターミナル機能の適正な機能分担を図り、富士箱根伊豆交流圏の玄関口にふさわしい広場施設の整備を行います。

案内誘導は、すべての利用者にとって判りやすく快適な施設となるよう、案内サインやバリアフリー設備を総合的なシステムとして検討・整備し、交通拠点であるターミナル駅としてふさわしい施設を目指します。

東京方面



(城山上空から見下ろしたイメージです) 箱根・熱海方面

小田原駅東西自由連絡通路の外観イメージ

コンセプトは 歴史・地域・交流そして未来

デザインにあたっては、城下町おだわらの新たな象徴として、歴史性があり、未来に向けた先進的なものであること、そして開放的なターミナル駅であることを基本コンセプトとしました。

線路に沿って架けられる大屋根は、城下町おだわらのまちなみや周辺の景観にも調和するよう、大きく、ゆるやかで優しい曲線を描いて自由通路やホームなどを覆っています。



(天守閣から見たイメージです)

小田原駅東西自由連絡通路の内観イメージ

あふれる開放感と使い勝手の良さ

橋上式の新駅舎は鉄骨のトラス構造による、大きな吹き抜けのあるデザイン。広い内部空間が得られるとともに、自然光も取り入れやすいので、採光性に優れた開放感のある明るい空間が演出されます。

J R 東日本駅舎のコンコース等、ホーム以外の場所からも小田原城天守閣を望めるようなポイントを用意し、駅利用者の皆様が「今、小田原にいる」という実感を持って頂けるよう工夫しています。

また、J R 東日本と小田急の駅機能や改札は線路上空の橋上部分に移設され、鉄道各社の改札がすべて自由通路に面する（※）ことにより、従来に比べてわかりやすい施設に生まれ変わります。

（※） J R 東日本、小田急線、箱根登山線については 3 階レベル、
大雄山線については 2 階レベル、
新幹線については 1 階レベルとなります。



小田急電鉄改札前から、東西自由連絡通路東口方向を見る



J R 東日本改札前から、東西自由連絡通路東口方向を見る



小田急電鉄改札内から東西自由連絡通路を見る

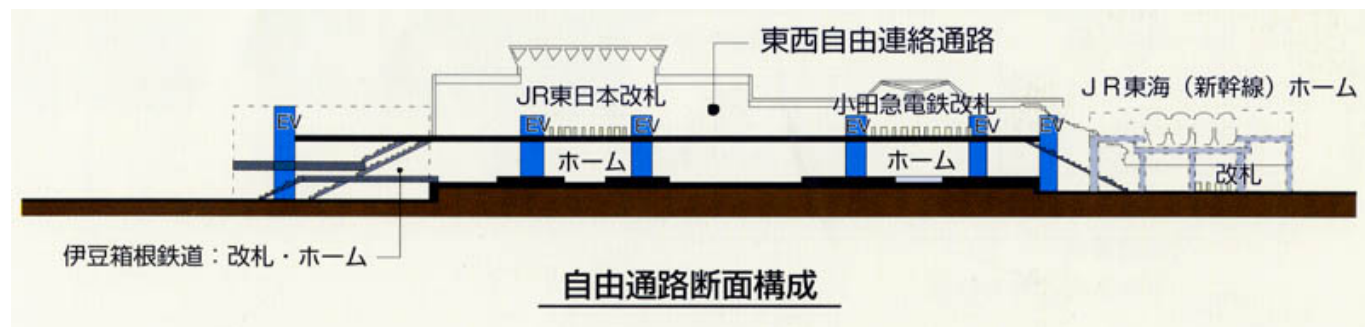
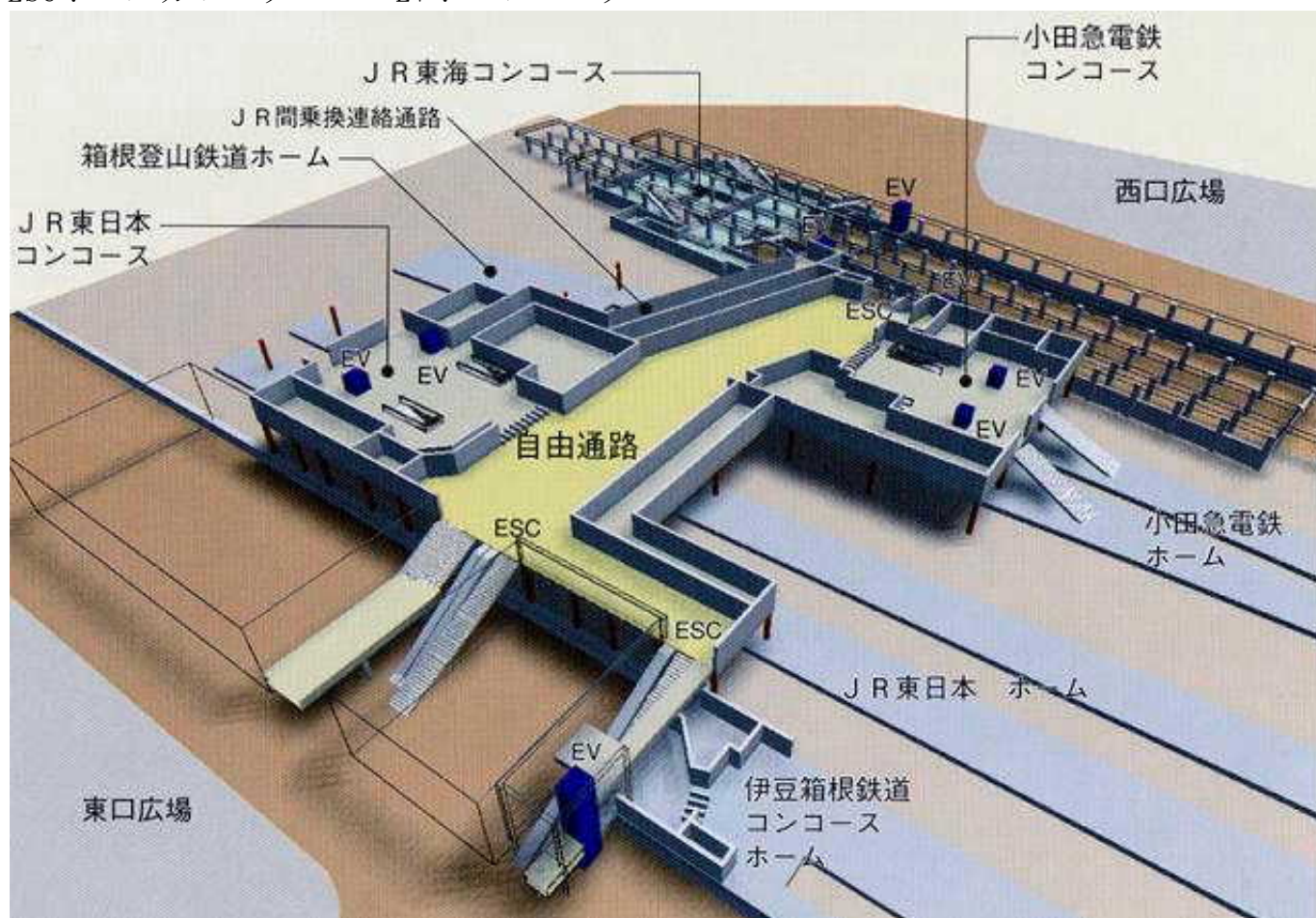
小田原駅東西自由連絡通路の空間構成イメージ

バリアフリーへの対応と利便性の向上

東西自由連絡通路には、バリアフリーへの対応のためのエレベーターとともに、誰もが利用しやすい施設とするためにエスカレーターを設置しました。

自由通路	東口側：エスカレーター 6基、エレベーター 1基
	西口側：エスカレーター 2基、エレベーター 1基
JR 間乗換連絡通路	エスカレーター 2基
橋上駅舎	JR 東日本：エスカレーター 4基、エレベーター 2基
	小田急電鉄：エスカレーター 5基、エレベーター 2基

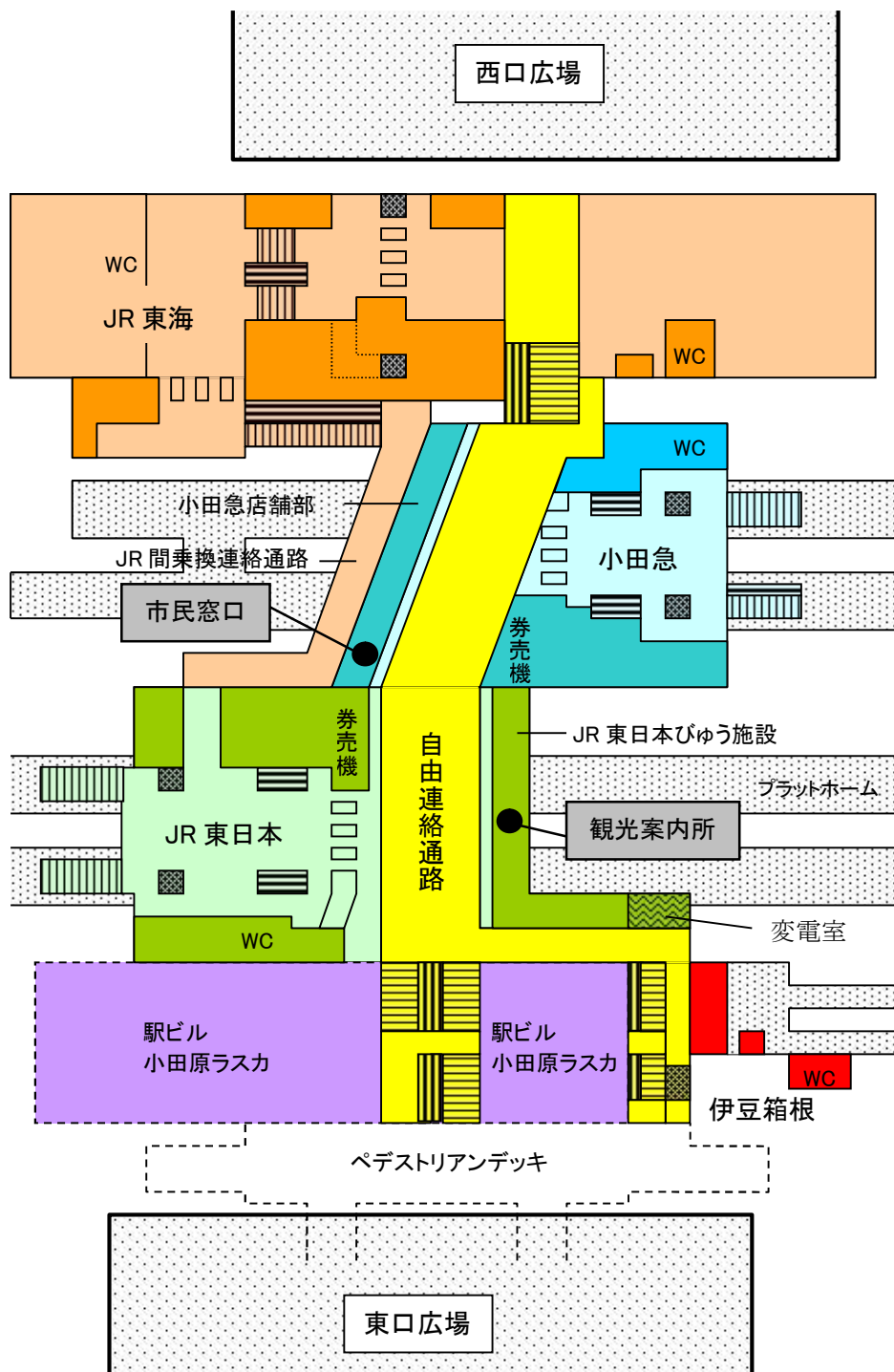
ESC：エスカレーター EV：エレベーター



小田原駅東西自由連絡通路の平面図

(凡 例)

	自由連絡通路		階段		エレベーター		エスカレーター
---	--------	---	----	---	--------	--	---------



小田原駅東西自由連絡通路整備工事の経過

新幹線ビルから（15年12月）



ベルジュから

天守閣から

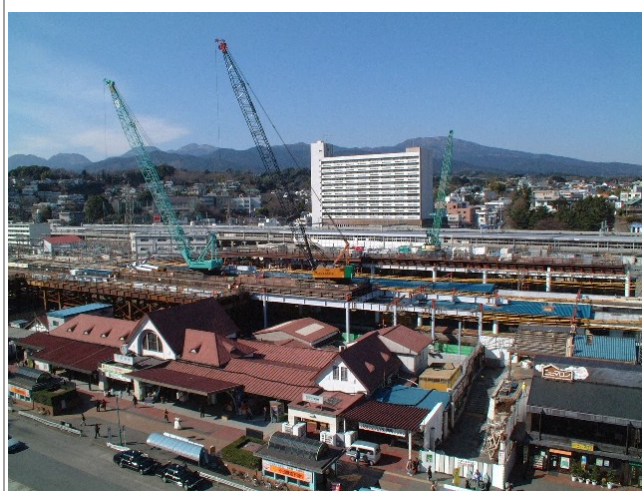
13
年
2
月



13
年
10
月



14
年
1
月



14
年
7
月



14
年
12
月



16
年
3
月



小田原駅東西自由連絡通路、いよいよ完成！

平成15年12月20日（土・市制記念日）の午前中に、来賓、招待者の出席のもと、完成記念式典が行われました。

祝辞に続いて、「わたしたちの自由通路をつくる市民の会」会長である原義明小田原商工会議所会頭から記念製作物の目録の寄贈があり、原作者と作品が紹介されました。



開式挨拶



市長挨拶



河野衆議院議長祝辞



県副知事祝辞



国土交通省祝辞



記念製作物寄贈



山崎氏（ちょうちん製作者）



芳澤氏（ステンドグラス原画製作者）



片岡氏（陶板レリーフ原画製作者）
（片岡鶴太郎氏実兄代理出席）



テープカット



テープカット



渡り初め